



<本年度クラブ会長方針>

繋ごう『クラブの心』、築こう『クラブのさらなる繁栄』を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 丹下富博 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8口イナルビル6F
幹事 大上晃延 電話(052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

世界に希望を生み出そう

第1937回例会

ロータリー親睦活動月間
令和6年6月6日(木)
SPEAK OUT DAY
於名古屋東急ホテル
会員66名

出席計算数
64名中56名出席
出席率87.50%

前及回出席率82.26%
★お誕生日お祝い
★米山奨学生挨拶・奨学金交付
★SPEAK OUT DAY

例年プログラム
★米山奨学生挨拶・奨学金交付
★お誕生日お祝い
★SPEAK OUT DAY
ロータリーソング
「君が代」「四つのテスト」
指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト
米山記念奨学生
エンフバル・ホラン

ニコボックス

今年度最後のSPEAK OUT DAYです。大いに語り合いましたよ！
丹下 富博・大上 晃延
岡部 快園・西脇 良輔
河合 誠弥・松井 健
藤田 澈・川合 美幸
佐々木 功・林 順治
内藤 啓喜・横井 衛
西垣亜矢子・深谷 昭広
横川 誠人・原 幸一

今月で創業90年を迎えることが出来ました。あのがんごいします。
加藤巳千彦

もうすべ梅雨です。いやな日が続きです。
小笠原和俊

コロナから回復しました。
飯田 昭夫

過日のそう人会、出席ありがとうございました。
草野 勝彦

誕生月です。モーツアルトの饗宴演奏会無事終わりました。ありがとうございました。鬼頭 茂成
もうこれ以上誕生日くるな!!

誕生月です。
岡田 尚彦
末吉 隆朗・山口 正孝
酒井 修・岡部 快雅

家内の誕生月です。
木村 光徳
ジューンブライド51回目の結婚記念月です。
萩葉 賢一

会長挨拶

雑誌プレジデントが今回は「人生後半が面白くなる」がテーマで、面白くなるというタイトルで読みました。面白く内容をしたので、ご紹介したいと思います。「解明自己中でもモテる人はなぜモテるのか?」というタイトルのコーナーがあります。あなたはその中で、その中にマツコ・デラックスがなぜ毒舌でも好かれるのか、という例が出ておりました。いわゆる毒舌でも



人気とされる芸能人のマツコさんを心理学で読み解くと、確かにスバツとしたもの言いでありますが、多くの世代から愛されています。どうしてマツコさんは人気があるのでしょうか。まず特徴的なのは、マツコさんがスバツと言いつつその内容が「ああ私もそう思う」と実感できるものや、マツコさんだったらそう言ってもおかしくないと考えることが多いということです。確認バイアスや、自己正当化欲求、同調や一貫性の心理も働いて、その明瞭な言い切りが気持ちよくいい位に感じられ、心を満たされ楽しい気分になります。マツコさんはまた豊富な語彙力を生かした言葉選びが絶妙で言語化されると思わず聞き入ってしまいます。自分を中心に置いていた発言のようでも、確かな語彙力と傾聴力で直接質問できない人も置き去りにすることなく、安心してやりとりを見届けられます。

的な自分を中心に置いた発言だと思います。
これを踏まえてモテる自己中になるポイントを考えてみましょう。まず前提として自己チューのマイナス要因をなくすこと、これは外せません。社内や会社や所属組織の基本的なルールやマナーを守り、社会や組織の一員として、良い意味で自己チューな心を心がけましょう。次に自分らしさや自分の考え方について深掘りしてみましよう。中には、自分自身について実はよくわからないという人もいるかもしれません。そういうときには好きな相手を思い浮かべることから始めてみてください。小説、映画、音楽、動物、具体的なモチーフから自分の好きなものを並べてみて、ときめくものを探してみてください。そうしたら星をいっぱい集めてみた中に自分らしさや自分の価値観のヒントが隠れています。周りの人のその人らしさや価値観も大切に尊重して見ることも大切です。それがひいては、自分らしさの発揮にもつながります。

最後に何か主張するときは、必ず理由とともに発言してみてください。とにもかくにも理由付けすることが大切です。またいきなり自己主張するのはなかなかハードルが高いと言っている人もいます。その場合、まずは自分と同意見の人がいたら真っ先に「私もそう思っていました」と表現し

てみることから始めてみてください。その時自分の考えた理由を、自分の言葉に付け加えることも忘れない。他にもストレートな物言いであっても、本質的に相手を傷つけないことが重要なポイントです。共感力や語彙力を磨いて、誰も傷つけない表現のしかたを育てていきましょう。

多くの人が社会性と自己中、自分を中心において考える生き方は両立できないと言いつ先入観を持っています。しかし実は両立できます。特に個人主義、自己責任的な社会の進歩現代において良い意味で、自己チューな生き方は時代にマッチした一つの道、選択肢でもあると思います。

これを読んで、私ほども共感いたしましたので、これからもますます自己中心的に生きてみたいと思います。ありがとうございます。

■米山奨学生挨拶・奨学金受取手

エンフバヤル・ホラン

名古屋大須RCの皆さん、こんにちは。米山奨学生のエンフバヤル・ホランです。本日もこのようにしてお話いたします。現在、私は日本で就職活動を行っており、日本とモンゴルの就職活動の違いについてお話できたらと思います。それでは、日本とモンゴルの就職活動の違いやメリット、デメリットについてお話します。人口や



企業の数、応募人数を考えると単純に比較はできませんが、私にとっては初めての経験で、あくまで私の考えなのでご了承ください。

日本とモンゴルの就職活動の最も大きな違いは、開始時期です。日本では新卒一括採用が一般的で、大学3年生から自分が興味を持っている会社や企業の説明会、またインターンシップに参加しているのではないのでしょうか。そして、大学4年生の春から夏にかけて多くの企業が一緒に採用活動を行います。学生たちも一緒に就職活動を始め、エントリーシートを提出したり、SP試験や面接を受けます。ここで一番興味深いのは、日本の大学の学部や専門分野が総合的であり、基本的には自分が興味を持っていれば、どんな会社でも就職できる点です。ただし、仕事によっては必要な資格が求められます。

日本で就職活動を行うメリットは、流動性があることと、どんな会社に就職しても研修期間があり、一から仕事を教えてもらえることです。デメリットは、流動性があるため、迷ってしまうことです。また、「このあえず就職しよう」という考え方がなく、真剣

に決めないと将来的に自分と会社に対して大きな悪影響を与える可能性がありますと感じました。

それに対してモンゴルでは、特定の時期に集中して採用を行う新卒一括採用の文化はなく、企業は通年で必要に応じて採用を行います。学生たちも大学を卒業してから就職活動を行うのが一般的です。また、モンゴルでは専門分野が明確に分かれているので、専攻している分野に大体就職します。したがって、大学に入学した次第で、どんなところに就職するかがほぼ決まっていると言っても過言ではありません。例えば、私はモンゴルの大学で人文学部だったので、迷いもなく人事部に就職していたらと思います。

モンゴルで就職活動を行うメリットは、長期間かららないことと、就職して1年間で退職しても将来的に悪影響はないことです。デメリットは、流動性がないことです。4年間専攻した分野にしか就職できません。また、モンゴルの会社は経験がないと応募しにくく日本のように一から仕事を教えるシステムや資格の制度がありません。そのため、就職する前に仕事に対するすべての知識を身に付けたいといけないという状況と直面します。日本とモンゴルのどちらで就職活動を行っても、不思議に思うことや疑問に感じる事が多いですね。

それでは、本日の挨拶は以上となります。ご清聴ありがとうございました。(原稿を原文のまま掲載)

新会費卓話(5月30日例会)

「新規事業と私」 黒岩 肇子

昨年7月より東京紀尾井町RCより移籍いたしました。直近10年間はIT企業で社内新規事業立ち上げに携わっておりましたが、現在独立をし心機一転、日本文化主に茶道と日本舞踊を通じて世界中の方々に喜んでいただけたよう新事業に尽力中でございます。具体的には、

- ・海外呈茶パフォーマンス (主にヨーロッパ、中東、アジア)
- ・インバウンド向け呈茶活動 (主に浅草・銀座)
- ・日本人向け講師業 (小学生からビジネスマン)
- ・企業案件

を中心に活動を行っております。海外におきましては、日本舞踊と茶道をコアとしたパフォーマンスを行っております。昨年においては1年の約半分を海外で過ごしましたが、改めて日本の小さな当たり前は、世界の奇跡である事を実感してしまい、しばらくは国内活動を強化して参りたい今日この頃でございます。

今年に入ってから東京・名古屋でこども向けに茶道のカリキュラムを開発しながら公立小学校や児童福祉施設などでの活動も開始いたしました。

たしました。今後は、過去のIT新規事業の経験をベースに、海外輸出事業や海外在住の方向けに日本文化のコンテンツ販売を行うため準備、指導者育成を進めて参ります。

茶道人口は減り続け、かつ高齢化をしております。左図 特に茶道に触れたことがない日本人や外国人に対して呈茶パフォーマンスや指導を継続することで、世界中のみならずの心が少しでも安らぎ、豊かな時間を過ごせる事を実感して頂けたら本望です。

今後とも精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

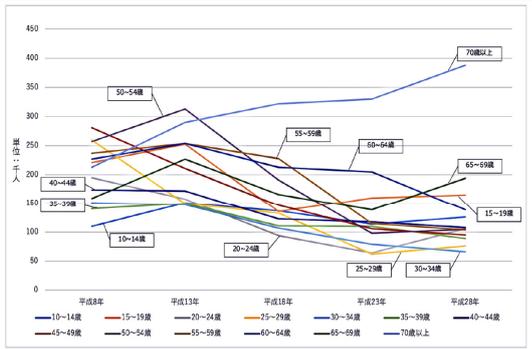


図2 茶道を経験とする人の行動者数(年齢別)の変化  
出典:平成8年から平成28年の「社会生活基本調査」(総務省統計局)  
(URL: [https://www.e-stat.go.jp/en-us/search/files?page=1&keyword=00200533&result\\_page=1](https://www.e-stat.go.jp/en-us/search/files?page=1&keyword=00200533&result_page=1)) を参照し作成した

公共イメージ向上委員会

- 近藤 明美・小澤 幸男
- 松本 哲朗・桑山 光俊
- \*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。